

# さんさん

## 社協 だより

2021年  
(発行) VOL.41

### 特別号

## おもいやりワクチン



コロナ禍だからこそ気付いた「普段の暮らしのしあわせ」。  
みなさんの支えあいが集まって・・・！



令和2年度年間を通してコロナ禍での地域住民同士でのつながり  
づくり・支えあいの活動やエピソード、本会のコロナ感染予防で  
代替えとなった事業を総集編としてご紹介します。

(この広報誌は皆さまからお預かりしました歳末たすけあい募金を財源として作成しております。)

# ～コロナウイルス感染症の影響で行った代替え事業の紹介～

- ・ひとり暮らし高齢者のつどい事業「コスモス会」
- ・高齢者の生きがい健康づくり推進事業
- ・大崎市配食サービス事業

## さんさん福袋贈呈事業

4月に高齢者配食サービス事業・高齢者の生きがいと健康づくり推進事業・ひとり暮らし高齢者のつどい事業（コスモス会）がコロナの影響で中止となる中、代替え事業として、対象者宅に見守訪問として「さんさん福袋」をお届けしました。『福袋』には松山婦人会様より寄付された手作りマスクをはじめ、脳トレグッズ・放課後児童クラブの応援メッセージカードを同封しており、受け取った方々からは「手作りマスクありがとうございます」等の声があり、とても喜ばれました。5月・6月も訪問を行い外出自粛に伴う困り事や体調の確認等を行いました。



- ・子育てサロン事業「サンサンひろば」
- ・ボランティア養成事業「漢と貴妃の生き方塾」

## 「マスク手作り講座」

9月にボランティア養成事業「漢（おとこ）と貴妃（おんな）の生き方塾」と子育てサロン事業「サンサン ◎ ひろば」の代替え合同開催事業として、「マスク手作り講座」を開催しました。

大人から子どもまで約20人が参加し手縫いでオリジナルの布マスクを製作しました。講師は、以前手作りマスクを社協に寄付いただいた婦人会とボランティア活動連絡協議会の会員5名が指導にあってくれました。



参加者は、親子で創作を通じて触れ合ったり、熱心に製作に取り組み、充実した時間を過ごしていました。

また、「孫にプレゼントしよう」、「初めて作ったけど楽しい」という声も聞かれました。

- ・世代間交流事業「さんさん夏まつり」

## 「ちいさな夏祭り」 (七夕竹飾り) 事業

7月に世代間交流事業「さんさん夏祭り」がコロナの影響で中止となり、代替え事業「ちいさな夏祭り」(七夕竹飾り)を行いました。

例年事業に参加しているいきいきクラブ・放課後児童クラブ・ボランティア等の皆さんで「七夕飾りに無病息災の願いを込めて」として製作。各団体が準備した短冊や吹き流し等を日にちや時間をずらして飾り付けを行う形で交流事業を行い、コロナが一日でも早く収束するように願いました。参加者からは「仙台七夕より綺麗だね」や「イベントが中止となっているなかでお祭り気分を味わえた」との声があがっていました。

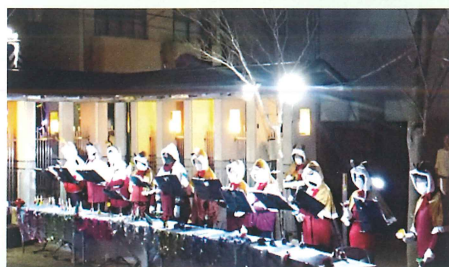


- ・ボランティア推進の集い事業
- ・福祉のつどい事業

## 銀の卵ステップアップ事業

ボランティア養成を目的に実施している「漢（おとこ）と貴妃（おんな）の生き方塾」ハンドベル講座は、平成30年度から開講し、高橋美智子先生を講師に3年目を迎えました。11月には商工会主催のイルミネーション点灯式等地域行事での演奏活動を行い、令和2年度をもってボランティア養成事業としては修了となります。

その修了生のフォローアップ事業として、ボランティア推進の集い・福祉のつどい事業の代替え事業である、ボランティア活動立上げ支援「銀の卵ステップアップ事業」を通じて令和3年1月からは新サークル『ハニーベル』を立ち上げ活動していくことが決まりました。



## ～コロナ禍での支えあい活動等の紹介（いま、思うありがとう～）～

### 手作りマスク寄付ありがとうございました！

#### 松山婦人会様

感染症の拡大を受けてマスクが不足していた中、4月に松山婦人会様より「地域で少しでも困っている方に役立ててほしい」と会員有志で製作した手作りマスク100枚を寄付いただきました。

いただいたマスクは、当社協の「さんさん福袋贈呈事業」を通じて一人暮らし高齢者世帯等地域で見守りが必要な方々に配布させて頂きました。



#### 松山ボランティア活動連絡協議会様

6月に松山ボランティア活動連絡協議会より地域の皆さんに喜んでいただきたいと、会員有志で製作した手作りマスク、108枚が寄付されました。同協議会谷崎会長と話し合いの上、事業でも交流がある、あおぞら園へお届けすることになり、谷崎会長より保護者会の花輪弦里会長へ直接手渡されました。花輪会長から「素敵なマスク、大切に使用させていただきます」との感謝の言葉と、園長先生からも「保護者よりマスクが手に入りにくいとの声もあり、大変助かります」とお礼がありました。



### 松山婦人会様 手作りマスク作成エピソードのご紹介

#### 「お役にたてた手作り布マスク」 松山婦人会 小関 裕子 会長

日本中、コロナ禍なのに世間ではマスク不足に見舞われました。私達婦人会で何とか作れないものかと思い、有志7名で4月8日から10日迄の3日間限定で、100枚を目標に布マスクの製作に取りかかりました。サラシー反はかろうじて購入できたものの、何もかもが材料不足の中、ゴム・表地・サラシ等を自分達がそれぞれ持ち寄っての作業開始でした。初日の午前中は、丸っきり試行錯誤で終わり完成したのは10枚ほど。2日目は30枚、これでは目標の100枚まではほど遠いと、最終日は昼休みもそこに作業に打ち込みました。

そして、3日目の夕方5時のチャイムと同時に遂に100枚目が出来あがりしました。と、その時、誰かともなく歓声と拍手が湧きあがりました。

作業最後の工程、会員である山上クリーニング店の協力で除菌仕上げをし、いつも地域の為に頑張っている社協松山支所に、是非有効活用をとお願ひしました。早速、お役立て頂いた事に感謝をしたいと思います。ほんの小さな、おもいやりで一人でも多くの方が喜んで下さった事に私達7名一同、改めて達成感と一体感を味わえた体験でした。

## 松山高校生も支えあい活動に協力！放課後児童クラブとのあたたかい交流がありました！

8月に松山高校の家庭クラブの皆さんから、手作りマスク52枚が寄付され、松山高校との相談の上、大崎市松山放課後児童クラブへお届けしました。

家庭クラブ部長小原里奈さんから「大変だったけど心を込めて作ったので使ってほしい」との話があり、児童からは「大切に使います」という言葉と共に後日、高校宛にお礼のメッセージボードが送られました。

なお、松山高校家庭クラブは令和3年1月31日に「おおさき社会貢献大賞」（NPO法人古川学人主催）



にてマスク製作ボランティア活動の取り組み活動が評価され「最優秀賞」を受賞されております。大変おめでとうございます。



## 「季節イベント創作講座」受講者募集！

～自分で作れば楽しさ倍増！～

令和3年度ボランティア養成事業「漢と貴妃の生き方塾」にて季節のイベント創作体験講座を開催します。ちょっとした季節の創作物に興味のある方や交流を深めたい方におすすめの講座です！

講師の方から分かりやすく教えて頂きます！

申込み・問合せは下記までご連絡願います。

**開催日：**令和3年5月～全8回コース予定

**時間：**午前10時～午前11時50分

**場所：**松山保健福祉センター（さんさん館）

**定員：**15名（定員になり次第しめさせていただきます）

**受講料：**1回300円×8回

※新型コロナウイルス感染予防自粛により、延期または中止になる場合があります。

【お問い合わせ・申込み】

大崎市社会福祉協議会 松山支所

Tel 0229-55-4546



## 編集後記

今年度当初より新型コロナウイルス感染症の影響で、本会松山支所地域福祉事業も中止や延期が続き、地域のサロン事業や生きがい事業など集まる機会が制限されるなどの影響が出ていました。その様な中、地元のボランティア団体からのマスク寄付の協力で、地域の見守りが必要な世帯にマスクをお届けする事が出来ましたし、代替事業として見守り訪問する機会にもなりました。

今回の特別号発行によって、コロナ禍だからこそ改めて、地域のみなさんでの支えあいの大切さと交流を絶やさないことが、「普段の暮らしのしあわせ」につながっていることに気づく機会となりました。地域のみなさんの温かい気持ちを今回の広報誌を通じてご紹介出来たことに感謝いたします。



**大崎市社会福祉協議会 松山支所**

大崎市松山千石字広田11  
大崎市松山保健福祉センター（さんさん館）内  
TEL 55-4546 FAX 55-4548  
matsuyama@osaki-shakyo.com

介護のお悩みのことなら何でもご相談下さい！

松山ヘルパーステーション  
TEL 080-1655-9771（直通）  
松山デイサービスセンター  
TEL 080-5737-4351（直通）